

安全で平和な生活と組織活動の継続を確保するため、 「防犯・セキュリティ対策」と「防災」の両輪 でさらに一層 取り組んで参ります！

公益社団法人日本防犯設備協会 総合防犯設備士 第 08-0249 号
公益社団法人日本防犯設備協会 防犯設備士 第 03-9112 号
特定非営利活動法人日本防災士機構 防災士 No.151429
パナソニック ライフソリューションズ創研株式会社 特別上席講師
価値創出センター 創業者



谷川 威人

【防犯・セキュリティと防災に取り組んだきっかけ】

1.1967年(昭和42年)松下電工(株)照明事業部研究部に
入社、照明LAB、照明中国EC、国内営業(神戸営業
所)、海外営業(アラブ首長国連邦ドバイ3年、インドネシア
販売会社6年)、ディズニープロジェクトリーダーを経た
後、今日の研修講師業に取り組んでいます。

2.私が、防犯・セキュリティに取り組んだきっかけは、48歳の
インドネシア勤務中に予防注射の針の使い回しによる肝臓
病を発症し、50歳のときの2回目の入院治療中に、虎の門
病院に転院して、後3日の命の劇症肝炎から主治医 熊田
博光先生のご決断により、治験薬を使用していただき、さらに
特別な治療をしていただき、命を取り留めていただきました。

そのおりに、もし、実践の場の社会に復帰できるように
なったら生涯現役で社会に恩返しを致していきたいと決意を
致しました。

3.社会貢献は今までの実務から得た教訓を活かして参り
ます。

イラン・イラク戦争中の中近東の砂漠の中での勤務と
スハルト政権末期の戒厳令下のインドネシア勤務でインフラ
整備と教育の重要性を心の底から学び取りました。

石油エネルギーが有るうちに早く中近東の砂漠を再生
させて新しい都市づくりを、戦後、焼野原から再生した日本
国・日本人に手伝って欲しいと伝え聞きました。

また、より良い教育がなされていけば、どんなに借金
があっても国を甦らせることが可能になります。

人に迷惑をかけない思いやりを持った心からの対応、
弱者を思いっきり成長させる人を育てる教育、人を成長させて
いくことが励みとなる環境、倫理観が持てる国造りの一助に
貢献していきたいと思えます。

4.2番目に、防犯・セキュリティに取り組んだきっかけをさらに
強固にしてくださいました方に、小田 全宏様^{*1}がいっぱしゃい
ます。

私が総合防犯設備士の資格試験を受けた時代は、白

紙の答案用紙に全て書かなければいけない試験でした。

体育会系で育った私には無理だ。

記憶力を高める研修としてアクティブ・ブレイン研修があり
小田 全宏様に御指導をいただき、総合防犯設備士資格
試験に合格することができました。

その時に学んだことは、記憶の仕方は年齢に関係ない
覚え方があるということでした。

※1 小田 全宏様は、東京大学法学部卒業。

卒業後、松下政経塾に入塾。

松下幸之助の下で人間教育、人材育成を研究。

1991年、株式会社ルネッサンス・ユニバーシティを設立し、

多くの企業で「陽転思考」を題材にした講演や人材教育を実施。

5.この記憶の仕方が突破口となり、避けて通れない道でも、
社会から本当に要求されている事案には、結果が直ぐに
出なくても全身全霊で打ち込めば、必ず解決策が出てくる
ようになりました。

6.防災士の資格取得後からは、下記の考えに沿って取り
組んでいます。

①まずは安全安心まちづくりに取り組む。

②「防犯・セキュリティ活動」を、毎日の発生への備えとして、
安全で平和な生活と組織活動の継続を確保する。

③加えて「防災」は、毎日発生しないが、広範囲に多くの
方が被害に遭われるため、防災士の資格取得を活かして、
丁寧に死者ゼロに向けた地震への備えの支援に取り
組んでいます。

④災害が多く発生する日本ですが、人が被害に遭っている
時の犯罪も多く、火事場泥棒は許されません。

【防犯・セキュリティと防災に関する現在の活動】

I. 公益社団法人日本防犯設備協会

①総合防犯設備士委員会副委員長

②施工基準委員会委員長

③防犯設備士委員会特別委員

④総合防犯設備士受験セミナー講師

⑤防犯設備士養成講習講師



総合防犯設備士委員会副委員長としての講演

Ⅱ.(特非)神奈川県防犯セキュリティ協会(神防協)

①防犯相談・防犯診断

・防犯コンシェルジュ

神奈川県警察本部から委嘱(委嘱期間2年)

神奈川県警察本部からの依頼案件



某中学校の防犯診断の実施

・防犯診断員

直接神防協に入った案件に対応

②プロジェクト

・住環境の向上推進プロジェクト委員

セキュリティアパート認定制度の運用

セキュリティ・ホーム認定制度

防犯に優れたマンションの防犯診断・認定制度

防犯優良駐車場認定制度等の推進

・安全・安心まちづくり活動支援プロジェクト委員

防犯講演の講師

Ⅲ.東京都立城南職業能力開発センター

①東京都講師(非常勤職員)

2016年(平成28年)から実施

設備保全科(防犯担当) 講師

防犯設備 12時限 × 2回/年

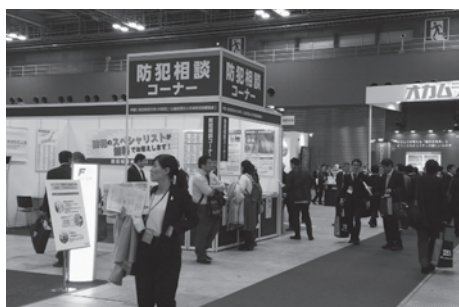
防犯設備保全作業 24時限 × 2回/年

Ⅳ.SECURITY SHOWの防犯相談コーナー

①株式会社日本経済新聞社様と打合せ調整

②毎年3月の第2週火曜日～金曜日実施

③防犯相談員として活動



SECURITY SHOWの防犯相談コーナー

【今後の防犯・セキュリティ対策と防災の取り組み】

防犯設備士、総合防犯設備士及び防災士の資格取得者の強みは、現場に密着していることです。真剣に取り組んでいる防犯設備士、総合防犯設備士及び防災士の資格取得者の活動実績を周知して、社会に役立ちを評価していただくために、常に調査、研究をして、社会への発信(提言)をしていく必要性を感じています。

今後一層精進をして常に第一人者から御指導を得ながら、下記のテーマに取り組んで参りますので、ご賛同していただける方は一緒に活動していただければ幸甚でございます。

- ①未解決案件や連鎖に通じる犯罪の調査
防犯対策の提言
- ②テロ対策や防犯対策が望まれる現場の調査
対策の提言
- ③防犯活動に役立つ情報の発信(提言)
防犯診断、防犯訓練など
- ④公判記録からの防犯対策の提言
- ⑤防犯セミナーのテーマ発掘 等

この活動を通じて社会のお役に立ちたく、地域協会及び公益社団法人日本防犯設備協会を通じまして、講演、講習、セミナーなど全国から声を掛けていただければ幸いです。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。